

畑地性カラー「福島2号」の育成

福島県農業総合センター 作物園芸部 品種開発科

部門名 花き－カラー－品種、育種・選抜

担当者 武藤景子、大河内栄、諏訪理恵子、松野香子、福田秀之、近内智子、本田祐希

I 新技術の解説

1 要旨

福島県は夏秋期におけるカラーの一大産地である。産地の維持・発展を図るため、球根の再利用が可能で、花色がクリーム色の畑地性カラー「福島2号」を育成した。育成経過や主な特性については以下のとおりである。

- (1) 花色はクリーム色でわずかに目が入る。花形はロート型で仏炎苞が大きく開く(表1、図1)。
- (2) 草型は半開張で、葉の形はやじり形。斑が線上に入る(図2)。
- (3) 花茎長は55～65cmであり、切り花長の確保が容易である。花立ち数は球根100g当たり1.2～2.7本である(表1)。
- (4) 球根は、母球の肥大及び子球の発生により球根の再利用が可能である(表2)。
- (5) 畑地性カラー品種「ホワイトゼム」を子房親、「ベストゴールド」を花粉親として交配して育成された品種である。

2 期待される効果

- (1) 切り花長を確保できるため、販売価格の安定が見込める。
- (2) 球根の再利用が可能のため、導入した球根を複数年使用することができ、生産者の種苗導入コスト削減に寄与する。

3 適用範囲

- (1) 福島県全域

4 普及上の留意点

- (1) 球根の再利用を確保するため、球根消毒や土壌消毒等の軟腐病対策は必ず行う。

II 具体的データ等

表1 カラー「福島2号」の収量及び切り花特性(2016年 所内試験(郡山市))

| 系統名 | 花立ち数 (本/球根 100g) | 平均 花茎長 (cm) | 平均 切り花重 (g) | 奇形花率 (%) | 仏炎苞 | | | 平均茎径 (mm) |
|--------------|------------------------|-------------------|-------------------|-------------|------------|-----------|------------|--------------|
| | | | | | 高さ (cm) | 幅 (cm) | 長さ (cm) | |
| 福島2号 | 1.2 | 59.3 | 42.6 | 10.0 | 10.3 | 5.7 | 7.4 | 9.0 |
| ブラックアイトビューティ | 2.1 | 57.9 | 48.0 | 4.2 | 10.7 | 4.6 | 5.9 | 10.4 |
| クリスタルブラッシュ | 4.4 | 29.1 | 13.9 | 20.9 | 9.4 | 4.5 | 5.8 | 5.8 |

表2 カラー「福島2号」の球根増殖特性(2017、2018年 現地試験)

| 試験場所 | 系統名 | 試験年度 | 球根肥大率 ¹⁾ (%) | 球根増殖率 ²⁾ (%) | 開花見込 | |
|------|--------------|-------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------|
| | | | | | 球根数の割合 ³⁾ (%) | 軟腐病発病度 ⁴⁾ |
| 猪苗代町 | 福島2号 | 2017年 | 166.8 | 195.0 | 46.2 | 54.4 |
| | | 2018年 | 158 | 90.0 | 94.4 | 40.8 |
| | ブラックアイトビューティ | 2017年 | 269.8 | 315.0 | 47.6 | 50.9 |
| | | 2018年 | 116.6 | 100.0 | 75.0 | 46.4 |
| 南会津町 | 福島2号 | 2017年 | 340.9 | 331.6 | 28.6 | 49.1 |
| | | 2018年 | 175.7 | 183.3 | 87.9 | 15.2 |
| | ブラックアイトビューティ | 2017年 | 233.8 | 480.0 | 38.5 | 33.3 |
| | | 2018年 | 193.6 | 160.0 | 61.3 | 33.3 |

1) 球根肥大率 = 掘上後の総球根重 / 定植前の総球根重 × 100 総球根重は水分量 60% での補正值

2) 球根増殖率 = 掘上後の総球根数 / 定植前の総球根数 × 100

3) 開花見込球根数の割合 = 翌年開花が見込まれる 30g 以上の掘上球根数 / 掘上後の球根数 × 100

4) 軟腐病発病度 = Σ (発病指数 × 株数) / (調査株数 × 5) × 100

発病指数 (0 : 無病徴、1 : 球根の一部に病徴有り、2 : 球根の 3 割程度に病徴有り、3 : 球根の半分程度に病徴有り、4 : 球根の 8 割程度、5 : 球根腐敗)

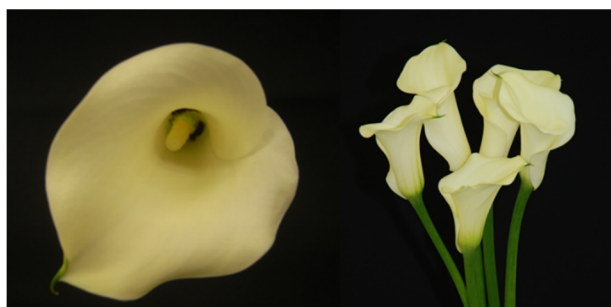


図1 カラー「福島2号」の仏炎苞(左：上部 右：側面)



図2 カラー「福島2号」の草姿

III その他

1 執筆者

本田祐希

2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成 17 年度～平成 30 年度

(2) 研究課題名 競争力と個性のある花き品種の育成

3 主な参考文献・資料